

かたオくん


与謝野晶子に大谷崎
円地又子にお聖さん
寂聴にリク・ボウ先生と
源氏物語の名現代語訳
は数多あれど、
ここどりあげたいのは
やはり「へんな」訳だ。

原文の「見よ「語々」
をすべて「セクス」に
置き換えるなど、エロ
とケスな人間模様
が全開のちくま文庫
「大塚ひかり全訳源氏
物語」は最高！

平凡社ライブラリー
「ウェイリー版源氏物語」
は西洋に源氏を知らし
めた歴史的訳業だが、
敬語や煩雑な歌のやり
とりをばっさり省略す
るなど、超訳じみた面も
騎道物語っぽい雰囲気


残念ながら河出文庫
に現在源氏は入っていない
が刊行中の角田光代訳
源氏かいつの日か必ず
文庫化するはず。

『語りあかそう』
ナンシー関 河出文庫 590 円




90年代ネタ満載ですが、南伸坊との「お笑い顔面進歩論」は今読んでも笑えし元気をもらえます。「谷亮子の政界進出」などの伝説的予言も多数。深夜ラジオ的な臨場感があふれる対談集です。

『少女への手紙』
ルイス・キャロル 平凡社ライブラリー 1200 円




皆さんご存知、『不思議の国のアリス』の著者がお気に入りの少女たちに送った手紙の数々。ルイスおじさんがアウトかセーフかの判断は各々にお任せします。

『闘う純米酒』
上野敏彦 平凡社ライブラリー 1300 円



神亀で一杯やりながら、読了しました。お酒がすすむ読書も一興でしょう。下戸の方もどうぞ。

『ポップ中毒者の手記(約10年分)』
川勝正幸 河出文庫 1200 円



2012年に急逝された川勝正幸氏の処女作が河出文庫より2013年に復刊。長らく編集者として音楽や映画などサブカルチャー全般で活躍された川勝氏のユーモア溢れる文体が堪能できる一冊。

『ホラー・ド
ラコニア少女
小説集成』シ
リーズ
澁澤龍彦
平凡社ライ
ブラリー
各 1400 円



澁澤龍彦といえば河出文庫のイメージがあるけれど、日本の人気現代美術作家が挿画を提供/制作したコラボレーションはこちらに収められている。会田誠の「犬」シリーズとサドのはまり具合は怖いくらい。残り二作も文庫化希望。

イオンかほく店 Y が選ぶ復刊希望！なへんな文庫2冊

『ザ・ベスト・オブ・ジョン・コリア』
ジョン・コリアー ちくま文庫 641 円

ありきたりに飽きたひねた読者に読んでほしい。という帯に惹かれて買いました。ブラックユーモアと諷刺、それらにふさわしい文体で、当時20代前半・小娘だった私の心は、ほどよくえぐられました。

『ザ・ベスト・オブ・サキ2』
サキ ちくま文庫 880 円

サキは人間の素晴らしくないところを、あっさりした書き方で描いています。感情を伴わずに読めるので、逆にじっくりと、人間の暗黒な面を味わうことができます。

私の家のへんな文庫棚



積読です。



「一貫性がない」または「硬軟取り揃えております」。

#筑摩河出平凡
へんな文庫フェア開催店舗

- ・twitter でつぶやいています。
- 掛尾本店 @nakadahonten
- ファボーレ店 @nakadafavore
- 魚津店 @nakadauozu
- イオンかほく店 @nakadakahoku
- ・その他開催店舗
大沢野店・砺波店
北の森店